

令和5年度版

HKS 学習の手引き



北海道函館高等支援学校

北海道函館高等支援学校 「学習の手引き」について

みなさんは3年生では18歳になりますから、この学校を卒業するときには、成人として社会に出て行くこととなります。

成人になるということは、選挙権をもち、社会を作っていく一員になる責任をもつということです。

今、世界は、かつてない速さでその姿を変えています。様々な技術の進歩で、生活が便利になる一方、経済的な格差が広がったり、気候変動などによる自然災害が多発したり、国と国との対立が深まったりなど、世界が協力しなければ解決できない課題も数多くあります。

私たちには、このような急速に変化する社会、予測が困難な時代の中で、様々な人々と協力して問題を解決する努力をしたり、心を豊にして自分の人生を充実させたりしながら、力強く生きていくことが求められています。

北海道函館高等支援学校では、この学校に学ぶみなさんが、社会の中でより良く生活していくために必要な力を、様々な学習を通して学んでいきます。

この冊子は、学習するみなさんに意識してほしいことや大切なことなどを、コンパクトにまとめたものです。

内容をよく理解して、毎日の学習を充実させるための参考にしてください。

目次

第1章 この学校でつける力

これからの時代を生きるために大切な力……………	4
学校教育目標について……………	6
校訓について……………	7

第2章 学習の取組方

授業の組み立て～3つの^{だんかい}段階～

「わかる」「できる」「いきる」……………	11
^{がくしゅう} 学習のルールとマナー……………	12
話し合いのルールとマナー……………	17
調べ学習……………	18
二つの大切な計画について……………	20

第3章 様々な学習について

授業の種類……………	22
自立活動……………	23
特別活動……………	24
総合的な探究の時間……………	25
進路の学習……………	26
カフェ～ハコカフェ・クローバー……………	28
その他の ^{ちいきこうけんかつどう} 地域貢献活動……………	29

資料

各教科等の授業時数……………	31
校章とスクールカラー……………	32

第 1 章

この学校でつける力

これからの時代じだいを生きるために大切な力

これからの時代は予測困難よそくこんなんな時代とされています。

次の6つの力は、そんな時代を生きていくために大切な力です。いろいろな学習とを通して、この6つの力をつけていきましょう。

1 言語力げんごりょく(言葉の力)

- 文章ぶんしょうを読み、書き、理解したり考えたりする力
- 話す力、聞く力、話し合う力

○言語力は全ての学習の基礎きそとなる大切な力

〔特に関係する学習：国語他全ての学習すべ〕



2 情報力じょうほうりょく(情報を使う力)

- 情報を得る力
- 情報を使う力
- ルールやマナーを守って情報を使う力

〔特に関係する学習：情報そうごうてき、総合的な探究たんきゅうの時間〕



3 問題解決力もんだいかいけつりょく(問題を見出し解決する力)

- 問題を見つける力
- 問題を解決する力



○各授業の「学習目標」を達成たっせいするための学習活動は、「問題解決力」を付ける大切な活動

〔特に関係する学習：特別活動、総合的な探究の時間〕

4 健康安全力(健康、安全に生活する力)

- 心身の健康を維持向上いじこうじょうする力
- 衛生的な生活を管理する力えいせいてき
- 交通安全に関する力
- 防災に関する力ぼうさい
- 防犯に関する力ぼうはん



〔特に関係する学習：保健体育 家庭科 特別活動他〕

5 社会性(社会で生活するのに必要な力)

- 決まりやマナーを守る力
- 他人を尊重そんちょうし、協力する力
- 社会的な責任と義務ぎむを果たす力は
- 社会に貢献こうけんする力



〔特に関係する学習：社会 職業 家庭 総合的な探究たんきゅうの時間 特別活動他〕

6 創造性(生み出す力)

- 表現ひょうげんする力
- 発想はっそうしたり工夫くふうしたりする力
- 様々な価値かちを感じる力



〔特に関係する学習：音楽 美術 職業 情報 他〕

学校教育目標について

北海道函館高等支援学校「学校教育目標」

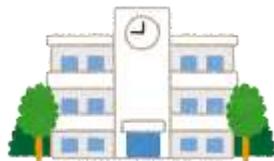
「共生社会の一員として、

自ら社会に貢献する人間の育成」

学校教育目標は、学校がどのような生徒の育成を目指しているかを表した、学校の中で最も大切な目標です。

「共生社会」とはあらゆる人々がお互いを認め合い、助け合い、共に生きていく社会です。

この目標には、この学校で学んだみなさんが、社会の一員として、多くの人々とより良い関係を築きながら、自分から社会に貢献できる人になってほしいという願いが込められています。



学びのキーワード「学校教育目標」

共生社会の一員として、自ら社会に貢献する人間の育成

こうくん 校訓について

たんきゅう きょうどう けんぜん
「探究・協働・健全」

函館高等支援学校では、「探究・協働・健全」の3つの言葉を校訓としています。

この3つの言葉は、みなさんが、学校教育目標にある「共生社会の一員として、自ら社会に貢献する人間」となるために必要な、様々な力を表しています。



それぞれの言葉が表している力を身につけることができるように、学校生活の様々な場面で校訓を意識して、学習に取り組んでください。



そうすることで、この3つの言葉のもつ意味を、しっかりと自分の力に変えていきましょう。



校訓は、この学校で共に学び生活するみんなをつなぐ大切な合言葉です。



【探究】

学び働き生きることを生涯しょうがいにわたって探究たんきゅうする人間
「探究」とは探さがし求もとめ、究きわめるといことです。

「探究」が表す力

- ・自ら学ぼうとする力
- ・知識や技能を高め、深めようとする力
- ・より良く生きようと求め、努力し続ける力
- ・問題や課題を考え、解決しようとする力



【協働】

多様性たようせいを尊重そんちょうし、互いのよさを認め合い協働きょうどうする人間
「協働」とは、人々と一緒に協力しながら活動すること
です。

「協働」が表す力

- ・誰とでもより良い関係を築くことができる力
- ・人から学ぼうとする力
- ・人の気持ちや考えを認め尊重できる力
- ・誰とでも話し合い、協力できる力



【健全】

生涯しょうがいにわたって健すこやかな心身しんしんと豊かんせいかな感性みかを磨く人間
「健全けんぜん」とは、心と体が健康であるということです。

「健全」が表す力

- 健康な心と体をつくり、保つ力
- 善悪の判断ができ、適切な行動ができる力
- 自分の心と体を磨く力



学びのキーワード「校訓」

校訓は学びの合い言葉
「探究」「協働」「健全」

第2章

学習の取組方

授業の組み立て～3つの段階～ 「わかる」「できる」「いきる」

授業で学んだことが、生活の中で生かされる力となるためには、決められたことにただ取り組むのではなく、「何ができるようになれば良いのか」「そのためにどんな努力や工夫が必要か」を考えながら、自分から積極的に学ぶことが大切です。

積極的に学ぶためには、授業の基本的な段階(組み立て)や、学習のポイントを理解することが大切です。

【第1段階「わかる」】

授業のはじめには、「学習予定」「学習目標」が示されます。また、学習に必要な「基礎・基本」を学び、これからの学習への準備をします。

この3つが学習に取り組むためにとても大切です。しっかり理解しましょう。

1 「学習予定」

学習の期間や進め方を理解し、予定に合わせて学習を進めることができるように見通しをもちます。

2 「学習目標」

この授業でどんなことを学び、どんなことができるようになるかを表したのが「学習目標」です。



目標をよく理解^{りかい}して、学習中には常に意識^{つね}して、目標が達成^{たっせい}できるように努力^{なつ}しましょう。

3 「基礎・基本」

学習に取り組むためには、その基礎・基本となる知識^{ちしき}や技能^{ぎのう}があります。学習活動は、その基礎・基本を使いながら、さらに高いレベルの学習に取り組めます。

それぞれの授業では、どんなことが基礎・基本となるかを理解^{りかい}しましょう。

【第2段階「できる」】

第1段階^{だんかい}の「わかる」で理解^{りかい}した「学習目標」を達成^{たっせい}するために、学習した基礎・基本となる知識・技能や、みなさんが今まで学習したこと、経験^{けんけん}したことなどを基^{もと}に、理解^{りかい}を深めたり、技能^{ぎのう}を高めたり、問題を解決^{かいけつ}したりしながら、さらに発展^{はつぜん}させ、力を高める段階^{だんがい}です。

この段階^{だんがい}で大切なことは「学習目標」を理解^{りかい}して、「何ができるようになれば良いか」を意識^{いし}しながら、試行錯誤^{しこうさくご}したり、繰返^くし練習^{れんしゅう}したりすることです。

また、目標達成^{たっせい}に向けて粘^{ねば}り強く取り組む意欲^{いよく}をもつことも大切です。



【第3段階「いきる」】

学習を振り返り、次の学習や生活に生かせるようにする、
まとめの段階です。

「自己評価」

「自己評価」は、学習目標に対して、自分がどの程度達成することができたかを、自分で評価するものです。

自分の取り組み方や課題を反省し、次の学習に生かしましょう。

学びのキーワード

授業の組み立て 3つの段階
「わかる」「できる」「いきる」

学習のルールとマナー

みなさんが通学つうがくに使うバスは、走るコースやバス停ていが決まっていますが、同じように、北海道函館高等支援学校でも、3年間で学習する内容や時間数が決まっています。これを「教育課程きょういくかてい」といいます。

みなさんは、入学のときに誓約書せいやくしょに署名しよめいをし、本校の生徒ほんぶんとしての本分を守って学校生活を送ることを誓ちかいました。ですから、この「教育課程きょういくかてい」に沿って、いろいろな学習をしていくことになります。

また、この学校には、たくさんの生徒が学んでいます。

それぞれの生徒が、いろいろな考え方や、個性をもって生活しています。

「学習のルールとマナー」は、この学校で学ぶ誰もが、一緒に楽しく、充実じゅうじつして学ぶことができるための大切な約束やくそくこと事です。

自分のため、そしてみんなのために、必ずかなら守ってください。

また、「学習のルールとマナー」は、社会に出てからも必要な内容ばかりです。社会生活を送る力として身みに付けましょう。

【学習のルール】

[授業の前後]

- 学習をする教室や服装^{ふくそう}、持ち物などは、自分で事前に^{じぜん}確認すること。
- チャイムが鳴るまでに着席すること。
- トイレや授業の準備^{じゅんび}、着替え^{きが}、教室移動^{いどう}は休み時間のうち^{おこな}に行うこと。

[授業中]

- 先生の指示^{しじ}に従って活動すること。
- 先生の説明^{せつめい}は静かに聞いて、良く理解すること。
- 発言や質問は、先生の説明の後に手をあげて、指名^{しめい}されてから行うこと。
- 友達の発言も最後まで聞くこと。
- 体調不良^{たいちようふりょう}などで授業に参加^{さんか}することが難しい場合は、授業の前に先生に相談^{そうだん}すること。
- 授業中は私語^{しご}や学習内容と関係のない活動、人に迷惑^{めいわく}をかけるような活動はしないこと。
- 物品の破損^{ぶっぴん}やケガ^{はそん}などは、すぐに先生に連絡^{れんらく}すること。
- 教室^{きょうざい}や教材^{きょうざい}など授業で使用するものを大切に扱^{あつか}うこと。



【学習のマナー】

- あいさつ、言葉遣い、振る舞いなど、礼儀正しくしましょう。
- 道具やプリントなどを大切に扱い、机の上、中、ロッカーやファイルなど、常に整理整頓しましょう。
- 間違ったり、失敗したりした友達に対して、馬鹿にしたり、批判したりせずに、励ましたり、手伝ったりする気持ちを持ちましょう。
- 体調が悪くても、参加する以上はしっかり取り組みましょう。参加が難しい場合は、自分から先生に相談しましょう。
- 苦手なことでも、投げやりな態度をとらず、できるだけ努力しましょう。

学びのキーワード

学習のルールやマナーは社会のルールやマナー

話し合いのルールとマナー

話し合いは、人々が共に生活していくために必要な、
もっとも基本的な手段です。

話し合いのルールやマナーを理解して、話し合う力を高めましょう。

【話し合いのルール・マナー】

- 友達の意見を否定しない。
- 友達の発言は最後まで聞く。
- ふざけたりばかにしたりしない。
- みんなが発言、意思表示をする。
- みんなで決めたことは大切に守る。



【話し合いのポイント】

- 何を話し合うか理解する。
- 話し合っどうするか理解する。
- 大切なことは何かをみんなで理解する。



※このほかに必要なことを、話し合いの時にみんなで考え、約束してから話し合しましょう。

学びのキーワード

話し合いは、社会生活の基本

調べ学習

調べ学習では、調べる内容や目的、まとめ方^{かた}や発表^{しかた}の仕方などをしっかりと理解して取り組むことが大切です。

1. 調べ学習の進め方

- (1) テーマを決める
- (2) 調べ方(手段)を決める
- (3) 必要な情報を収集する
- (4) 調べたことをまとめる
- (5) 発表する



2. 調べ方(手段)について

インターネットだけで調べて終わりにするのではなく、本や新聞、雑誌など、様々な手段を使って調べることが大切です。

① 本・雑誌・辞典など

⑤ インターネット(サイト)

② 新聞・チラシ

⑥ 現地調査

③ ラジオ・放送

⑦ 実験

④ DVD・ビデオ

⑧ インタビュー・アンケート



学びのキーワード

調べ学習のポイント

何のために何を調べてどうまとめるかを理解する

iPad の活用方法

◎知^{とく}って得^{べんりき}する iPad の便利機能！ 【便利機能】

- 1 スクリーンショットに文字を追加
- 2 Apple Pencil でインスタントメモ
- 3 Airprint で簡単印刷
- 4 マルチタスクジェスチャ (Dock) で一つの画面に二つのアプリを表示
- 5 AirDrop を使って写真やデータを近くの人へ簡単送信

◎もっと勉強したいと思っている君へ！ 【便利無料アプリ】

- 1 ノートアプリ「Nebo」
Nebo は手書きのノートアプリですが、手書きが苦手な人でも自動文字変換でテキスト化ができるので安心です。
- 2 「PictureThis:撮ったら、判る 1 秒植物図鑑」
写真を撮るだけで・人工知能 (AI) が草花や木の名前を瞬時に判定してくれる。
- 3 「NightSky ナイトスカイ」
屋内・屋外関係なくリアルタイムで天体観測ができる。
- 4 「じしょ君」
和英・英和・ことわざ・国語辞典等がひとつになった総合辞書アプリ。シンプルな操作性で使いやすい。
- 5 「漢字検定・漢検漢字トレーニング」「毎日脳トレ」等々無料で使える便利無料アプリがいっぱいあります。

iPad は様々な授業で使用^{さまざま}する大切な学習用具です。
乱暴^{らんぼう}に扱^{あつか}ったり、学習目的以外^{いふてきせつ}の不適切な利用の仕方をしないように十分注意してください。

二つの大切な計画について

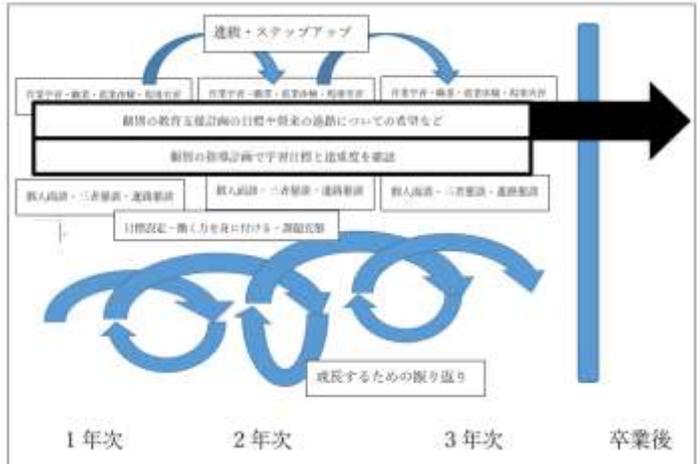
個別の教育支援計画と個別の指導計画

「個別の教育支援計画」とは、みなさんが卒業してからも使う大切なものです。現在の状況を把握し、自分の進路希望や将来の生活について学校と保護者、あなた自身、関係機関で確認し、その目標や手立てについて考えます。卒業後は、企業や支援を受ける関係機関でも使います。

「個別の指導計画」は、学校での学習における目標や手立てを学校で考え、保護者やあなた自身で確認し、学期末にはその達成度についてお知らせします。

学びのキーワード

2つの計画を自分のために活用しよう



第3章

函館高等支援学校の 学習活動について

授業の種類

北海道函館高等支援学校には、大きく普通科と職業学科があります。さらに、職業学科には、生産技術科、食品デザイン科、福祉デザイン科の3つの学科があります。

授業の種類には、国語、数学などの教科や、作業学習、自立活動、特別活動、総合的な探究の時間のほか、毎日の清掃活動や給食の配膳を行う日常生活の指導、体力づくりを行うTKK学習などがあります。

ここでは、「自立活動」「特別活動」「総合的な探究の時間」「進路の学習」「地域貢献活動」について、どんなことを学習するのか、簡単に説明します。

また、他の授業の内容については、各授業のオリエンテーションで説明されるほか、配布される「シラバス」に1年間の学習内容などが載っています。

各学年の各教科等の授業数は、この資料の最後に表がありますので、そちらをご覧ください。

じりつかつどう 自立活動

特別支援学校には、心や体の状態により、大変さや難しさを感じながら生活を送っている生徒が学んでいます。

その困難な状態を改善・克服するためにどうすればよいでしょう。



今現在の生活や、卒業後の社会生活で、より自立した生活を送るために必要な力は何かを考え、それをつけるため

に取り組む学習が「自立活動」です。



個別の教育支援計画で立てた「重点目標」などと関連させ、自分の課題に対して具体的な目標と達成するための学習活動を考え、取り組みます。

自立活動は、授業として1時間の学習を行います。自立活動の各自の目標を学校生活全体で意識して取り組むことが大切です。目標の設定とグループの選択は、先生とのガイダンスを行い、話し合いながら決めていきます。

学びのキーワード

自分のことを知り、課題を明確に

特別活動

【ホームルーム】

ホームルームには週2時間行う LHR（ロングホームルーム）と、毎日の朝、帰りに行う SHR（ショートホームルーム）があります。

LHR では、クラスで行事の取り組み方などをみんなで決める話し合いや、先生と、個別の教育支援計画の重点目標などについて話し合う「個別懇談（ガイダンス）」を行います。

【生徒会活動】

生徒会は、生徒会長、副会長、書記、会計の4役からなる生徒会執行部と、各委員会で構成されています。

生徒会は、各ホームルームで話し合われたことや、委員会で計画したことを生徒総会で決議し、それをもとに活動をしていきます。

生徒会活動は、議会制民主主義の考え方をモデルとして組織された活動です。社会の学習としても大変大切な活動ですから、みんなで協力して、積極的に取り組みましょう。

学びのキーワード

生徒会活動は社会の入口

そうごうてき たんきゅう 総合的な探究の時間

総合的な探究の時間は、普通科では週 3 時間、職業学科は年に何回か、集中して学習します。

全校的な取組では「函館マラソンのボランティア活動」を総合的な探究の時間として取り組んでいます。

総合的な探究の時間のねらいは、テーマに沿って調べたことを基に、課題を考え解決したり、それをまとめて発表したりする力を付けることです。

総合的な探究の時間には、国語や他の教科などで学習した様々な力を使って学習に取り組めます。

また、みんなで話し合ったり、一緒に調べたりなど、協力して取り組む学習も多くあります。

みなさんが持っている、いろいろな力を発揮して取り組みましょう。

学びのキーワード

総合的な探究の時間はいろいろな力を総合的に使います

進路の学習

高等支援学校は、小学校から続いてきた学校生活を終え、新たな社会生活に向かうための力を養^{やしな}う学校です。



その中で最も大切なのは、卒業後の社会生活の場を準備することです。社会生活とは、「働くこと」を通して、人や社会とかがわって生きていくことです。

さまざまな学習をとおして、自分のよさや苦手なことを知り、人とのかかわり方を学びながら、「自分らしい生き方」を見つけましょう。

【その中心となる学習】

職業

作業学習(普通科は職業)

LHR

就^{しゅうぎょう}業^{たいけん}体験・現場実習

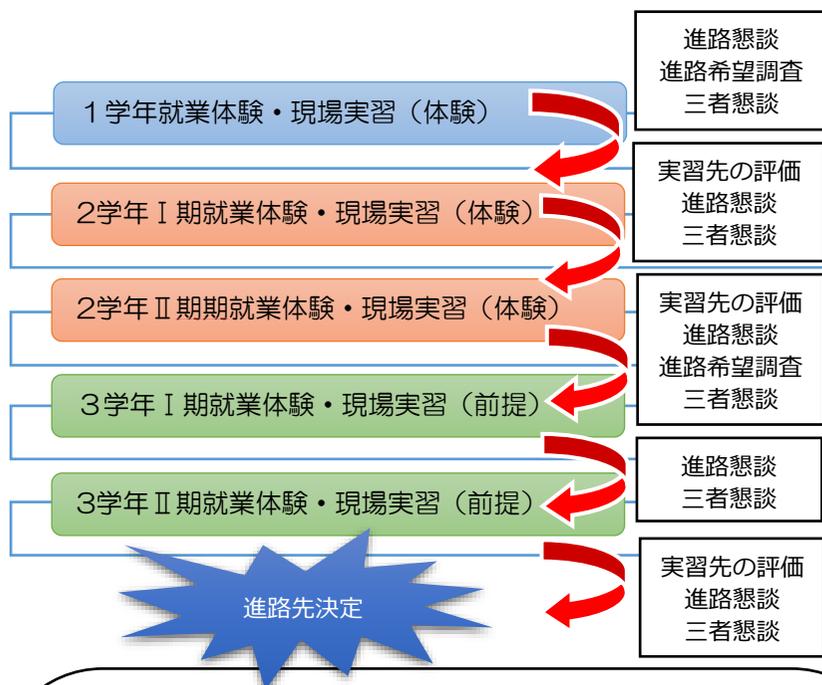
日常生活の指導(挨拶^{あいさつ}、言葉遣い^{つか}、身だしなみなど)



学びのキーワード

卒業後の職業自立、社会自立を目指して

3年間の進路の流れ



1 学年（体験実習）

- 先生の引率・2～4名のグループ
- 学校の近くの職場
- 実際の職場を知る、働く体験をする
- 普通科は1日×3か所
- 職業学科は8日間

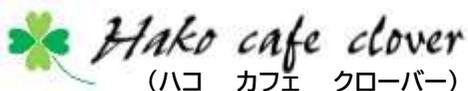
2 学年Ⅰ期・Ⅱ期（体験実習）

- 単独・基本的に引率はなし
- 自宅から通勤
- 進路希望に合わせた職場
- 自分の力を試す、自己理解
- 普通科は3日×2か所（Ⅰ期）、8日間（Ⅱ期）
- 職業学科は10日間（Ⅰ期）、13日間（Ⅱ期）

3 学年Ⅰ期・Ⅱ期（前提実習）

- 単独
- 進路希望先での実習
- 就職を前提とした実習
- 15日間（Ⅰ期）～1次試験
- 20日間（Ⅱ期）～最終試験

【カフェ～ハコカフェ・クローバー】



学校教育目標にあるように、本校では地域みなさんに貢献できる活動に取り組んでいます。

地域みなさんの役に立ち、様々な場面で関わりをもちながら、将来の社会生活に必要な力を付けていきます。

「カフェ」は4つの学科が協働で運営し、日常の学習の成果を発揮し、地域みなさんに喜んでいただけるような場所づくりを通して、地域みなさんとつながっていくための、本校の特色のある学習活動です。



その他の社会^{こうけん}貢献活動

【函館マラソン】

函館市が主催する「函館マラソン」でボランティア活動を行います。選手へのサポートのお手伝いをしたり、会場周辺の清掃活動などを行ったりしています。総合的な探究^{そうごうてき たんきゅう}の時間として取り組みます。

学びのキーワード 地域に貢献する学校

【^{ちいきせいそう}地域清掃】

石川町、桔梗町の清掃活動を各学年、年1回、学科ごとに清掃区域^{くいき ぶんたん}を分担して実施^{じっし}します。

資料

- 1 各教科等の授業時数
- 2 本校の校章^{こうしょう}とスクールカラー

1 各教科等の授業時数

種類	授業の名称	1週当たりの時間数					
		普通科			職業学科		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年
教科	国語	3	2	2	2	2	2
	社会	2	2	2	1	1	1
	数学	2	2	2	2	2	2
	理科	1	1	1	1	/	/
	音楽	1	1	1	1	1	1
	美術	2	2	1	2	2	1
	選択芸術	/	1	1	/	/	/
	保健体育	4	4	3	4	4	3
	職業	4	4	6	1	1	1
	家庭	2	2	2	1	1	1
	外国語	1	1	1	/	/	/
	情報	2	2	2	1	1	1
特別活動		1	1	1	1	1	1
総合的な探求の時間		3	3	3	まとめて実施		
自立活動		1	1	1	1	1	1
作業学習		/	/	/	11	12	14
日常生活の指導		毎日（清掃活動・給食当番）					
TKK 学習		1	1	1	1	1	1

2 本校の校章とスクールカラー

校章は、北海道函館五稜郭支援学校と北海道函館^{りょうほく}北高等学校の^{りょうこう}両校の歴史や^{せいしん}精神に敬意を込め、新たな学校として新しい歴史を^{れきし}地域と^{ちいき}協働し^{きょうどう}積み重ねることを中央の五稜郭で^{ひょうげん}表現しています。また、五稜郭の中に示す三角形は、「探究」「協働」「健全」の校訓を表現し、^{つばさ}翼は、教育目標である「共生社会の一員として、自ら社会貢献する人間」として社会に力強く、かつしなやかに^は羽ばたく願いを込めています。^{ちゅうおう}中央の校名を表す「H」は、人と人が手を取り合い協働する社会を表しており、^{りねん}教育理念である「共生社会の^{そうぞう}創造」を^{しょうちよう}象徴しています。校章は、北海道函館北高等学校イラスト部と北海道高等^{ろう}聾学校^{せんこう}専攻科情報デザイン科のコラボレーションにより作成しました。（^{かんしゅう}監修：函館デザイン協議会 ^{きょうぎかい}岡田 暁 氏）



スクールカラーは、セルリアンブルーです。本校所在地、石川町^{たかだい}の高台より^{てんぼう}展望できる^{ともえこう}巴港の海の色と深いセルリアンブルーの青空。「^{ちせい}知性」と「^{ちせいの}希望」を表すと言われるブルーと、知性と希望をもって^{おおうなばら}大空へ^{ふなで}羽ばたき、未来という^{おおうなばら}大海原へ^{ふなで}船出しようとする北海道^{けいしやう}函館北高等学校の理念を^{けいしやう}継承しています。